

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA COSMOS



東京町田コスモスワイズメンズクラブ

TO ACKNOWLEDGE the DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT.

「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。」



2025年9月号
第350号

【今月のことば】



「わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます。」
(日本聖書協会 新共同訳による)

ローマ信徒への手紙 6章8節 平本善一選

THE COSMOS

Chartered in May 1996

2025～2026年度主題

クラブ会長 山口和彦 (町田コスモス)	主題：現実を見ずえ、ユースのために着実な一歩を！ スローガン：共に未来を創ろう！
東新部部長 深尾香子 (多摩スマイル)	主題：「考えること」を止めないで進もう！ スローガン：棚卸と原点復帰。評価から展望へ。
東日本区理事 山下 真 (十勝クラブ)	主題 『ワイズのらしさ再発見』 スローガン Change！
アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさしクラブ)	主題 『信念と愛を持って行動しよう！』 スローガン YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう！
国際会長 Edward Ong (シンガポール)	主題 『信念、愛、行動』 スローガン 『共に、より強く』

【9月の強調テーマ】

EMC

2025年9月第一例会

日時 2025年9月4日 (木) 17:30～19:30

場所 玉川学園コミュニティーセンター 2F多目的1A

オンラインする場合は、末頁のURLをなぞって、URLの窓に貼り付けてください

設営：加藤、受付：富樫 進行司会：加藤

17:00集合設営、17:30～Fellowship 軽食

開会点鐘
ワイズソング
モットー、ワイズ信条
今月のことば・感謝の祈り
ゲストビジター紹介
会長挨拶

卓話タイトル

「福祉障害手帳って、どう申請するの、いざという時のために知っておきましょう～ご自身または大切な人のために、あわてないように」

YMCAニュース・アピール

諸報告

ハッピーバースデー

にこにこ献金

集合写真・献金報告

閉会点鐘

峰 毅ワイズ

(東京多摩スマイルクラブ、社会福祉士、精神保健福祉士)

担当主事 諏訪治邦

書記 他

会長 山口和彦

ドライバー

司会、会計

会長 山口和彦

巻頭言

町田コスモスクラブ会長
山口 和彦ワイズ



東京の西部、多摩地区にはYMCAの固定施設が現在ありません。YMCAの施設での催しに参加すると、やはり良いな、と感じてしまいます。しかしここで明治から昭和初期の宗教家、内村鑑三のことが思い出されます。

不敬事件でキリスト教会からも疎遠にされた内村は、様々な会館、あるいは野外などで伝道活動をつづけました。「神の造られた宇宙であります。天然であります。これが、私ども無教会信者のこの世における教会であります。その天井は蒼穹であります。その板に星がちりばめてあります。その床は青い野であります」。私たちには冷房の効いた公共施設が、抽選はありますが、使えていることを良しとし、大自然を拠点としてワイズの活動に励みましょう。



9月Happy Birthday：11日 加藤 祐一さん

8月データ	在籍	8 名	例会出席	メン	5 名	BFポイント		町田コスモス	
	出席	9 名		メーカー	0 名	切手	0 g	にこにこ	5,700 円
				出席率	62.5 %			累計	10,870 円
				メネット	0 名				
				ゲスト ビジター	4 名	累計	0 g		

8月第一例会

日時：2025年8月7日（木）17：30～19：30
場所：玉川学園コミュニティーセンター 2F多目的1A
出席者：（9名）山口和彦（会長）、榎藤徳彦（副会長）、加藤祐一（書記）富樫紀代美（会計）、諏訪治邦（担当主事）ビジター：為我井輝忠（多摩スマイル）、綿引康司（多摩スマイル）小口多津子（八王子クラブ）山本（八王子

2025年8月7日（木）、玉川学園コミュニティーセンター多目的室1Aにて、第一例会が開催されました。出席は会員5名に加え、八王子クラブから小口さん・山本さん、さらに東新部より綿引康司ワイズ（会員増強担当）、為我井輝忠ワイズ（国際・交流担当）の計9名でした。

開会前のフェローシップでは、軽食をいただきながら、和やかな交流のひとつとなりました。この時間には、先日の熊本でのアジア地域大会の様子をまとめたスライドが上映され、各国の活動の雰囲気を感じながら食事を楽しみました。

メインプログラムは、為我井ワイズによる「ネパール訪問記」です。現地で経験した日常や文化をユーモアを交えて紹介してくださいました。1日に2度の結婚式に招かれた話や、帰国前日にタクシーにスマホを置き忘れたところ、直後に乗車した女性が知り合いに連絡してくれ、無事手元に戻ったエピソードは特に印象的でした。現地の温かさや人々のつながりを感じる話に、参加者は大いに引き込まれました。

オンライン参加者からは、ネパールの例会の様子について質問があり、小口さんが現地事情を補足報告。ネパールではワイズソングは歌わず、祈りも行わない形式であることが紹介され、国や地域による運営の違いに興味が集まりました。

この日は、宝塚クラブからお菓子とお茶の贈り物があり、心温まる交流の証として全員で感謝の気持ちを共有しました。また、諏訪担当主事からは東京YMCAの活動に関するアピールがあり、活発な意見交換が続きました。

最後に、にこにこ金額の報告があり、今回は5,700円が集まりました。和やかでありながら内容も充実した例会は、次回への期待とともに19時30分に終了しました。



8月第二例会

日時：2025年8月21日（木）17：30～19：30
場所：玉川学園コミュニティーセンター 2F多目的1A
出席者：（5名）山口和彦（会長）、榎藤徳彦（副会長）、加藤祐一（書記）富樫紀代美（会計）、諏訪治邦（担当主事）

2025年8月21日（木）、玉川学園コミュニティーセンター多目的室1Aにて第二例会（総会）が開かれ、会員5名が出席しました。この日は年間の活動を支える重要な会計報告と予算案審議が中心となり、議論が進められました。

まず、2024年度の決算が報告され、一般会計およびファンドの当期収支は黒字であることが確認されました。また、30周年行事の会計は独立管理とし、会費収入から会場費や宴会費をまかなう方式を採用することを内定。ファンドは会長からの提案である「健康ファンド」を新設とし、これまでの「にこにこファンド」や「ハチミツ」の収入は前期末をもって終了としました。

さらに、クラブの運営効率化に向けて複数の取り決めがなされました。会長の発信メールには書記を必ずCCに入れることを明確化し、情報共有を徹底。ロースターの原稿発信および注文も完了しており、会員間の連絡体制を強化していきます。予算案は修正を加えて次回に再度審議することとし、慎重な計画づくりを進める方針です。

報告事項では、ブリテン印刷のスケジュールが9月2日までと確認され、今月の言葉を実さんに依頼したことが共有されました。30周年行事については町田駅近くのホテルでの開催とし、会費は8000円で実施する方向であることが内定され、具体化へ向けた準備が着実に進んでいます。

例会は定刻どおり19時30分に閉会。参加者からは「議題が整理され、非常にスムーズな進行だった」との声がありました。総会ならではの充実した議論の場となり、今後のクラブ活動や記念行事への期待感を高める例会となりました。

9月の卓話者 峰ワイズ



高齢者となると、脳血管を損傷し「脳梗塞」や「くも膜下出血」となり、身体障害として麻痺が残る、歩くことが困難となるリスクが飛躍的に高まります。また道でこけたり、階段から転倒して脳を強く打ち、精神障害である「高次脳機能障害」となり、昨日まで普通に出来ていたことが、

ある日突然できなくなり、日常生活を送ることが困難となることがあります。

「自分だけは大丈夫」と謎の根拠で思いがちですが、その日に備えて、ご自身また大切な家族のために、福祉サービスを受けるための入口である、福祉障害手帳の申請方法について知っておきましょう。（知識は荷物になりません）（備えあれば憂いなし）

アジア太平洋地域大会2025 “For Greater Joy!”
権藤 徳彦

今夏第31回アジア太平洋地域大会が主会場を熊本城ホールで開催されました。7月31日(木)前夜祭、8月1日(金)開会から8月3日(日)にわたり、熊本ワイズメンズクラブ、国際本部(ジュネーブ) およびアジア太平洋地域クラブのほか欧州、米国、アフリカ、南米等22諸国、併行開催のユースコンボケーションの若者達、熊本各YMCA・大会のマーシャル、ホストチームを含め総勢750余名の参加を得て、大盛会、大成功裡に閉幕となりました。熊本市長からの祝辞、火の国ならではの情熱、地域色溢れる踊りと、ホストチームの実にみごとな進行、豊かな充実したプログラム、歴史ある熊本城下町風情、大阿蘇連山からの清澄な湧水の江津湖・水前寺公園の有趣の地方色に、YMCA阿蘇キャンプ場でのユースコンボケーション、“通潤橋”などの5コースのエクスカッションは地域の文化と地球環境にも思いを馳せる機会でした。本大会の大成功へとお祝いとお祝いとホストならびにマーシャル、宝塚クラブの皆様のホストに敬意を捧げ、意欲的活動のユースの皆さんと国際友好の場で交流の実も感じ、感謝を表したいと思います。(権藤徳彦)



クラブ30周年を迎える想い～

権藤徳彦

私達のクラブ「東京町田コスモスワイズメンズクラブ」は当初1990年4月「東京YMCA町田センター」が町田市森野5丁目に英会話教室として開設され、YMCA活動支援と町田市の地域奉仕活動を開発推進することの為に1991年に先ず「東京まちだワイズメンズクラブ」を新設し、続いて、1996年5月18日に「東京コスモスワイズメンズクラブ」の名称で設立されました。

その後、1997年東京YMCAは町田センターからスタッフと拠点を撤収となりましたが、町田YMCAの活動は継続し、2023年親クラブを吸収合併する形で、そのミッションは継承統合され、現在の名称「東京町田コスモスワイズメンズクラブ」の地域・YMCA奉仕活動として継続されています。

来年2026年5月18日に30周年を迎えます。そのミッションは、「東京YMCA」の使命に基づき東京町田YMCAとして町田地域での活動を行っています

◆地球市民としての自覚と人間の優しさが地域に奉仕の働きを通して、特に、子どもたちや若い世代の未来を育みます。

◆弱い立場にある人と共にあることを願い、生きる喜びを共にする希望を持ち、健やかな人間社会の成長をめざします。

◆自ら進んで参加するボランティアがボランティアを生みだし、支え合う仕組みを創りだします。

◆世界の人々とつながる地域奉仕活動団体の一つとして、思いを共にする人々がいつでも加入できる、開かれた会員組織で運営されます。(「東京町田YMCAのご案内」2015年東京町田25周年記念誌より抜粋)

東京町田YMCA活動委員会委員長

Y M C A ニュース

諏訪治邦

9月のYMCAニュースです。チャリティーランのご参加をお待ちしております。

1 8月1日から18日まで東陽町センターで「長崎原爆被災写真パネル展」が開催されて多くの方の来場があった。平和といのちの尊さを考える機会となった。

2. 今年もキッズワールドカップ In韓国が8月8日から12日の期間で、ソウルYMCAのキャンプ場で開催された。過去、当クラブのメンバーだった谷治さんも過去引率をしていただいたプログラムです。

3. 今夏も、サマーキャンプはじめ日帰りのキャンプが開催され約600名の参加者があった。海外キャンプも行われ4コースが開催され27人が海外のキャンプに参加した。

4. 東京YMCAと関係性の深いソウルYMCAからインターンシップが1名が派遣され7月下旬から8月上旬まで、語学教育を中心としたボランティアスタッフとして関わった。

5. 今後の予定

①関東大震災102周年記念 追悼 合同早天祈禱会 (在日韓国YMCA 9階国際ホール)

②2025災害スタディ 街歩き 9月20日 東陽町センター 共催 江東区社会福祉協議会

③第39回インターナショナルチャリティーラン
個人ウォーキング (オンライン 9/20-27)
チームウォーキング (オンライン 9/27-10/5)
駅伝大会 (都立木場公園 9/27)

④JTスイフト主事&ミラー主事 墓前礼拝 (横浜外国人墓地 10月25日) 共催 横浜YMCA

⑤国際協力一斉街頭募金 (新宿駅近辺 11/15)

6. お悔み

磯部成文さん (東京YMCA名誉会員)

香取良和さん (東京YMCA名誉会員・学法評議員)

お二人ともワイズの会員としても長い間貢献されました。心よりお悔みを申し上げます。

8月 東京YMCA早天祈祷会報告

山口和彦

8月1日の早天祈祷会に山口が参加しました。東京YMCA副総主事の松本竹弘さんが「あの日をわすれない フクシマ」というタイトルで奨励をしてくださいました。2011年3月11日当時、南センターに勤務していた松本さんのもと数か月後、日本キリスト教団より、原発事故により放射線量が高く外で遊べない地域の子供たちのため、キャンプをしてほしいと依頼があり、その後、山中湖、妙高等のYMCA施設で計22回、“こひつじキャンプ”を実施したそうです。当時は部屋の線量も気にしていたそうです。松本さんは浪江地区にYMCAを作る夢があり、どうすれば実現できるか、あの日を忘れない、との思いのもと、祈りを続けているそうです。

「コスモス」は“秩序ある世界”＜宇宙＞

世の“争い”を“平和”へ向ける時、先立つ不快・不安は何らかのシグナルが発信しています。ことばの“コスモス”は、その不健全を“健全”へと制御し、整え、常に正常に回復する神の設計・秩序と捉えて、当クラブ名に採用されました。“コスモスクラブ”は、ワイズのモットーの真価を、ひとり一人のこころを“他のための行動へと向ける”ことを表し意識して命名されました。“分断と自国ファースト”がはびこる世界の今、将に今年の、愛と平和の健全な成育を「義」として行動する「クラブ30周年」を迎えます。

その記念日を新たな山口和彦会長は主題に、“現実を見すえ、ユースのために着実な一歩を！”。スローガン「共に未来を創ろう」は、この東京町田YMCAの意志と未来軸を捉えて、ワイズのモットー“の”強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う。(中国語訳によれば、“その義を行い、その利を求めず、その権ちからを享けその功に致す。”に相応しく、会員8名の協力にやり喜ばしい実りある感謝の30周年を迎え、ワイズの前進にも寄与できることになると言えないでしょうか。(権藤徳彦 副会長・直前会長)

わくわく！実験教室

山口和彦

8月16日(土)、町田市民フォーラムにて、町田YMCA主催のわくわく実験教室が開催され、小学校1,2年生を主体とする6名の参加、

山口の解説で行われました。“測候所”というタイトルで、風力計、風向計、温度計、雨量計、方位磁石を備えた“測候所”を組み立てるのですが、その前に空中の水分子を氷水の入ったコップの壁に凝集させたり、細い管に入っている水柱面が温水で上昇、氷冷水で下降する様子を観察、さらに手作り風車で手のぬくもりによる上昇気流を確かめたりしました。「むずかしかった」という子もいましたが、「楽しかった」という感想が多数でした。みな、目を輝かせたり、考え込んだりして参加していました。



今後の予定

町田コスモス-----

9/4(木)17:30 第一例会 玉川学園CC

9/5(金)町田YMCA活動委員会

9/18(木)17:30 第二例会 玉川学園CC

YMCA-----

9/5(金)～7(日)ユースボランティア・リーダーズ

9/20(土)東京 YMCA 災害スタディ 10:00～東陽町

9/27(土)東京 YMCA チャリティーラン 木場公園

東新部-----

9/10(水)19:00 会長会 Zoom

10/8(水)19:00 会長会 Zoom

10/9(木)19:00 Y 友広場 Zoom

YY友広場-----

9/11(木)19:00～20:30 東新部 Y 友広場 Zoom

9/15(月、祝) YY イベント「お茶会」深尾邸

10/10(金) YY イベント「金毘羅宮愛宕神社」

その他-----

9/24(水)「在京 12 クラブ会」19:00～20:30 Zoon

編集後記(加藤祐一)

私は消防団でこの夏に地元で焼きそばを出店して、400食販売した。軽い熱中症にもかかってしまった。でも入団希望者4人あって、達成感いっぱい夏の夏でした。

30 周年にむかっています

東京町田コスモスワイズメンズクラブ

2026年5月の30周年行事を開催します。

会長 山口 和彦
副会長 権藤 徳彦
書記 加藤 祐一
会計 富樫 紀代美
担当主事 諏訪 治邦

事務所：227-0036 横浜市青葉区奈良町1566-565 山口 和彦 気付

第1例会 第1木曜日 17:30～19:30 / 第2例会 第3木曜日 17:30～19:30

例会場：玉川学園コミュニティセンター (小田急線 玉川学園駅下車) オンライン参加は下記

<https://us06web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYUJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09&omn=87815756572#success>

会費振込先

【銀行口座】きらぼし銀行 玉川学園支店 0137

店番 060 口座番号5048617 東京町田コスモスワイズメンズクラブ